

日本史研究推進委員会 夏季巡検報告

—武田信玄ゆかりの地をめぐる—

神奈川県立川崎高校 時任 竜也

はじめに

本巡検は、2025（令和7）年8月18日（月）に下記コースにて5名が参加し、行われた。

●コース…JR甲府駅→信玄堤公園→将棋頭→甲斐善光寺→昼食→武田神社

1 午前の部@信玄堤公園と治水事業ゆかりの地をめぐる

信玄堤とは、武田信玄が行った治水事業において構築された堤防である。この堤防の近くに広がる甲府盆地は、以前から釜無川と御勅使川の合流地点と近く、氾濫による洪水に悩まされていた。信玄堤公園から眺めた釜無川は、扇状地を流れる河川であるため水の流れが速く、氾濫による洪水が起きやすいことがわかった。もし、信玄堤が作られていなかったことを想像すると、甲府盆地の洪水による被害が、さらに増えていたかもしれないと感じた。

その後、訪ねた場所は将棋頭とよばれる石積みの堤防で、これも治水事業の一つである。そのなかでも、今回訪ねた竜岡（たつおか）将棋頭や日本史の資料集に登場している六科（むじな）将棋頭が有名であり、この時代の治水事業がいかに大掛かりなものであったことが感じられた。

2 午後の部@武田神社をめぐる

午後に訪ねた武田神社は、武田氏の館のかつての主郭であり、その近くは、いくつかの副郭によって構成されていた。武田氏の館は副郭も含めると、とても広大であり、権力の大きさを大いに感じられた場所であった。武田氏が「甲府」という街に拠点を移したのち、甲斐善光寺など多くの寺院が甲府へ移転し、城下町として繁栄していった。

また、神社近くにある信玄ミュージアムでは、館から発掘された皿などの出土品や武田氏の鉱山事業として有名な金などが展示されており、武田氏の領国支配の様子を垣間見ることができた。展示資料を撮影することは出来なかったが、領国支配の特徴や様子などを授業で扱う際の話題のタネとして扱えるものだと感じられた。

おわりに

今夏の巡検は、「武田信玄」という戦国武将を取り上げ、彼にゆかりのある場所などをめぐってきた。この巡検を通じて感じたことは、探究的な単元やテーマ史を扱う単元において、とても有効なものであると感じた。

実際、今年1月実施の大学入学共通テストにおいて、「近世の城郭」が試験問題として取り上げられた。今まで流すように行ってきた戦国武将の政策や城郭の特徴などについて、今一度授業のなかでも詳細に行っていく必要があると感じることができた。

日本史研究推進委員会 冬季巡検報告

—綾瀬・座間の歴史をめぐり、学ぶ—

神奈川県立綾瀬高校 日裏 高博

1月6日(火)、日本史研究推進委員会は、県央地域(綾瀬・座間)の冬季巡検を実施した。
[小田急線長後駅集合(8:30)～県立座間谷戸山公園解散(17:00)、参加者のべ14名]

綾瀬市域の巡検(神崎遺跡資料館／早川城跡・早川城山遺跡)

神崎遺跡(綾瀬市吉岡)は、相模原台地南端部の弥生時代後期の環濠集落遺跡である。出土土器や住居形態などから、東海地方との関係が指摘されている。隣接資料館では、環濠(レプリカ)や出土土器の展示のほか、綾瀬市の歴史を学ぶことができる。



早川城跡(綾瀬市早川)は、目久尻川沿いの中世山城遺跡で、この地を治めた渋谷氏の拠点と伝わるが、実際の築城は戦国時代(15世紀前半)と考えられている。主郭周囲からは堀切や堅堀、物見塚、土塁などが発見されており、有事の際の砦として機能していたと考えられる。同地の早川城山遺跡から発見された奈良三彩小壺の蓋は、古代高座郡の物流について考える上で貴重な資料である。

座間市域の巡検(武田信玄の「ほしのや新鎌倉」構想と谷戸山公園／「顔面把手」土器)

北高南低で南北に長く、西方に相模川を望む谷戸山公園(座間市入谷東)を舞台に、久保田昌希氏(駒澤大学名誉教授)からは、『甲陽軍鑑』を活用し、武田信玄がここを武家政権の拠点(「新鎌倉」)とすることを構想していたとした黒田日出男氏の論考(『「甲陽軍鑑」の史料論-武田信玄の国家構想-』校倉書房 2015)を土台に、この構想の「記憶」は近世の甲州流軍学に継承されたこと、「ほしのや=星谷」が「鎌倉郡」として認識されていたこと等の持論を拝聴させていただいた。閲覧の機会を得た「絵図」(享保年間成立)は、「新鎌倉」を想起させるのに十分である。また、座間市役所1Fに展示されている「表裏型顔面把手」は、全国的にも希少な、「顔」を表現した縄文中期中葉の土器であり、儀式などで使用されていた可能性が指摘されている。



巡検を終えて

綾瀬・座間には歴史学習を様々な角度から補強してくれる史跡が豊富に存在する。これら地域教材を生かし、生徒の歴史理解をさらに深めさせていきたい。

最後に、巡検への準備、参加された方々をはじめ、ご協力いただいた綾瀬市、座間市の学芸員諸氏、久保田昌希氏にあらためて感謝を申し上げます。

巡検の様子(早川城跡)

